

## 7. 情報の収集・分析システムについて

山本 皓二（高知医科大学情報処理部）

全国の病院で発生する周産期情報を収集し、その分析結果を各病院へ安定して供給する方法の一つとして、中央に大容量データ・ベースを置き全国の基幹病院で情報の入力・参照並びに分析を独自に行うことのできる全国ネットデータベースシステムが考えられる。このようなシステムの設計上並びに運用上の問題点を分析するため大阪大学大型計算機センターに周産期データベースを設置し、大型計算機センター間ネットワークシステムを利用した全国ネット周産期データベースシステム（PERINATE）を作成した。

### a) データ項目

日本産婦人科学会周産期管理登録委員会でまとめられた統一項目を用いた。また、同委員会で収集された昭和56年、57年度の周産期死亡データをその最初の登録レコードとした。

### b) システムの機能

現在使用可能となっている機能は、1) 登録レコードの条件付き検索とその集計（平均、分散、

ヒストグラム、相関）、2) レコードの詳細出力（サマリシート出力）、3) レコードの修正、4) TSSモードによるレコードの追加、である。なお、これら機能の詳細は、利用の手引きとしてまとめた。引続き、1) パッチモードによるレコードの追加、2) 統計処理パッケージSPSSと結合したより高次の解析手段を提供するシステムの開発を予定している。

### c) 患者のプライバシーの保持

本システムは、全国ネットワークが容易に達成できる理由から全国共同利用大型計算機センターに設置したが、患者のプライバシーの保持を考え、システムとは特別に設計した。現在本システムに登録された使用者のみ利用することができる。しかし、データベース設置場所近くにデータ内容をよく理解したデータベース管理者が常駐していないなど基本的な問題を含んでいる。将来的には病院にセンターを設置し病院間ネットワークとすることが望まれる。



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



全国の病院で発生する周産期情報を収集し,その分析結果を各病院へ安定して供給する方法の一つとして,中央に大容量データ・ベースを置き全国の基幹病院で情報の入力・参照並びに分析を独自に行うことのできる全国ネットデータベースシステムが考えられる。このようなシステムの設計上並びに運用上の問題点を分析するため大阪大学大型計算機センターに周産期データベースを設置し,大型計算機センター間ネットワークシステムを利用した全国ネット周産期データベースシステム(PERINATE)を作成した。